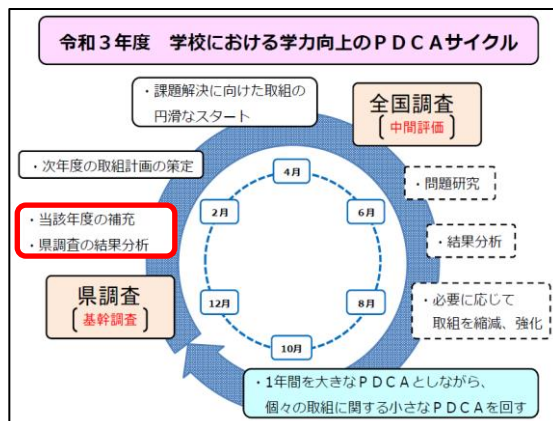


PDCA サイクルを意識できていますか

県調査の結果として、個人票や各学校の調査結果が提供されています。各学校において、全職員で調査結果を分析し、今後の取組の共有を図りながら、補充指導を含む年度内の学習指導につなげていくようにしましょう。

また、調査結果を次年度の指導計画の策定に生かしていくようにしましょう。



◆◆学力向上対策プロジェクトチーム会議◆◆

「授業づくりのステップ1・2・3」を踏まえた授業動画の作成に取り組んでいます

県教育委員会では、学力向上に向けた授業改善と校内研究の充実を図るために、プロジェクトチームを立ち上げ、教員の指導力向上と実践的な取組の推進を行っています。

今年度は、「授業づくりのステップ1・2・3」を踏まえた授業動画の作成を行っており、「めあて」「まとめ」「振り返り」のポイントについて、授業場面を取り入れながら具体的に示した動画（DVD）を作成しているところです。リーフレットや動画を活用して、授業改善の取組の推進を図り、授業のさらなるステップアップを目指しています。



「めあて」「まとめ」の授業の様子を具体的にイメージできないなあ・・・



授業の「振り返り」は、どのように進めていったらいいだろう・・・

小中連携事業の公開授業 開催中！！

「小中連携による学力向上推進地域指定事業」に係る県内24の指定校において、12月末時点で、延べ39校で公開授業が開催されています。これまで、学力向上だよりにおいて公開授業の様子の一部をお知らせしていますが、指定校によっては、複数学年の授業を公開したり、授業研究会や講師の先生を招いての講演会を実施したりするなど、児童生徒の学力向上に向けて、研究の推進にあたっていただいています。各学校においては、是非指定校の取組を日々の授業づくりにお役立てください。

【授業づくりのポイント ～授業研究会より～】

- 単元の中で身に付けさせる資質・能力を理解した上で、1時間毎の指導目標を設定することが重要である。
- 資料を読み取る際は、根拠を明確にして自分の考えを述べたり、理由を説明したりする活動を意識して行っていくことが必要である。
- 話し合い活動は、子どもに活動の必然性を持たせ、「何のために」「いつやるか」を考えて行うことが大切である。
- 小学校と中学校の対話活動がスムーズにつながるよう指導の連携が大切である。
- 授業では、「分かる」「できる」「のこる」ように指導していくことが重要である。



嬉野市立大草野小学校：12月9日（木）

E-MAIL：okusano-e@education.saga.jp

図・式・言葉を使って、わり算の計算の仕方を考える授業！

1 研究主題

【校区テーマ】 小中連携による基礎・基本の定着と主体的・対話的な学びによる問題解決能力の育成
【学校テーマ】 活用する力を育む算数科の授業研究
～めあての設定から振り返りの活動までの連続した学びを通して～

2 公開授業の様子

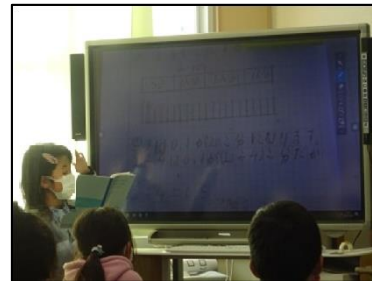


学 年： 4年生 算数
指導者： 安富 宏典 先生
単元名： 小数のかけ算やわり算
めあて： わる数が大きいわり算の計算のしかたを考えよう

（小数）÷（整数）の計算の仕方をもとに、図や式、言葉を使って、 $2 \div 4$ の計算の仕方考えましょう。



ペアになって、自分の考えを説明したり、友だちの考えに質問したりしている様子です。



自分で考えた解決の仕方を全体に説明している様子です。

佐賀市立富士小学校：12月15日（水）

E-MAIL：fuji-e@education.saga.jp

既習事項をもとに、三角形の面積の求め方考える授業！

1 研究主題

【校区テーマ】 自ら課題を発見し、その解決に向けて主体的に学ぶ態度の育成
【学校テーマ】 コミュニケーションの楽しさを実感できる「話したくなる」授業づくりを通して

2 公開授業の様子



学 年： 5年生 算数
指導者： 小浜 竣輔先生
単元名： 面積の求め方考えよう
めあて： 三角形の面積の求め方考えよう

三角形の公式は知らないよね。公式が分からないとき、どうすればよかったかな。



既習事項をいかながら、今日の学習の見通しをもたせている様子です。



ペアで自分の考えを紹介しながら、話し合っている様子です。